

関係者各位

【2027年シニアナショナルチーム選考基準について（改訂版）】（通知）

記

1 2027年シニアナショナルチーム選考基準における目的

- (1) 第34回ロサンゼルスオリンピック競技大会に向けた育成強化
- (2) シニア国際大会においてメダル獲得

2 要 綱

- (1) 2026年第20回アジア競技大会の成績に応じて選考する。
- (2) シニアランキング戦 第1戦、第2戦（ともにBカテゴリー）及び第66回近代五種全日本選手権大会（Aカテゴリー）の獲得ポイント上位2つの合計に応じて選考する。

3 要 領

- (1) 選考最大人数

ア ナショナルチーム（NT） 男子4名 女子4名
イ 準ナショナルチーム（準NT） 男子2名 女子2名

- (2) 競技日程

回次	期 日	大 会 名	場 所
1	7/5(日) *予備日 7/12(日)	ランキング戦 第1戦	リソルの森(千葉県)
2	10/12(月) *予備日 10/18(日)	ランキング戦 第2戦	リソルの森(千葉県)
3	11/28(土)~29(日)	第66回全日本選手権大会	リソルの森(千葉県)

- (3) 競技種目

フェンシング、オブスタクル、水泳、レーザーラン

- (4) 選考序列

序 列	条 件	備 考
第一位	アジア大会メダル獲得	・最大2名を2028年までNTとして選出する。 ・アジア大会メダル獲得者が1名の場合は序列が1位ずつ繰り下がるものとする。 ・アジア大会メダル獲得者が2名の場合は序列が2位ずつ繰り下がるものとする。 ・準NTはNTの序列から次点および次々点の選手とする。
第二位	RP最上位の選手	
第三位	RP第二位の選手	
第四位	RP第三位の選手	
第五位	RP第四位の選手	
第六位	RP第五位の選手	
	① アジア大会においてメダル獲得者がいなかった場合はRP順に上位から決定する。 ② RP＝国内ランキングポイント ※ポイントは別紙参照 ③ RPはアジア大会でメダルを獲得した選手を除いた順位に応じて付与する。	

○準ナショナルチームの運用について

育成強化を目的とし2027 ワールドカップシリーズおよび2027 世界選手権大会に派遣するものの、いかなる結果であってもナショナルチームとの入れ替えはない。しかし、アジア大陸予選出場者が何らかの事情で出場できなかった時は準ナショナルチームから補充するとしその序列はワールドカップシリーズの結果によって決するものとする。なお、決定時期にあつてはアジア大陸予選エントリー期日までとする。

(5) 活動期間および派遣方法

2028シニアナショナルチームおよび準ナショナルチームが決定するまでとし、活動期間内における国際大会への派遣はその都度、選手選考委員会からの承認を得ることとする。

4 欠員の補充

第3項にて選考された人員の中にやむを得ない事情で欠員が生じた場合は速やかに競技力強化委員会会議を開催しRP次点の選手から選考する。

5 その他

諸事情により変更が生じた場合は競技力強化委員会および選手選考委員会とで協議を行い、決定した内容を直ちに日本近代五種協会のホームページに掲載またはその他の手段にて通知します。

以上

【ランキングポイント】

順位 カテゴリー	国内R P	
	A	B
1	5 0	3 0
2	4 4	2 6
3	3 9	2 3
4	3 4	2 0
5	2 9	1 7
6	2 5	1 4
7	2 1	1 2
8	1 8	1 0
9	1 5	8
1 0	1 3	6
1 1	1 1	5
1 2	1 0	4
1 3	9	3
1 4	8	2
1 5	7	1
1 6	5	1
1 7	4	1
1 8	3	1
1 9	2	1
2 0	1	1
2 1	1	1
2 2	1	1
以降 1点とする		

同点の場合

ア アジア競技大会参加者を上位とする

イ アが同率の場合、日本選手権大会で獲得MPポイントが高い者を上位とする。

ウ イが同点の場合、ランキング戦全2戦のうち最高獲得MPポイントが高い者を上位とする。

エ ウでも同点の場合、シリーズ中の水泳・LR の得点が高い者を上位とする。

オ エでも同点の場合、シリーズ中の LR の最高得点が高い者を上位とする。

カ オでも同点の場合、直接対戦した直近の対象試合（第66回全日本選手権大会）で順位が高い者を上位とする。

※シリーズ中とは7/5日から第66回全日本選手権大会までの期間をいう

※MPポイントとは、各大会の総合得点のことをいう。